

公表

事業所における自己評価総括表
(児童発達支援)

○事業所名	千歳市児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和 7年 12月 17日		～ 令和 8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60名	(回答者数) 43名
○従業者評価実施期間	令和 7年 12月 17日		～ 令和 7年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 16名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の専門性をいかしたチームで連携した支援を行っている。 ・日々の支援プログラムが固定化しないように工夫し、子どもが楽しさを感じる発達支援を提供している。 ・子どもが心地よく過ごせる環境を提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の場に複数の職員が入る機会を作り、様々な視点から子どもの成長の確認や課題を整理した支援の提供を行っています。 ・児童が支援を楽しみに通所できるように、季節の行事を取り入れた支援や興味を引くような壁面飾りなど環境設定を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに専門性を高めるために研修会の受講や、センター内での学習会を行いスキルアップを行います。 ・お子さんが楽しく支援を受けられるように、四季の行事を取り入れた支援や、興味が膨らむような遊びを工夫していきます。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと保護者のニーズや課題に沿ったうえで個別支援計画を作成している。 ・具体的支援内容を知らせ、支援のねらいを保護者と一緒に確認しながら支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画作成のための会議や日々の支援を振り返った反省など、支援内容の検討を多職種が参加したチームで行い、提供する支援の充実を図っています。 ・保護者が支援内容を理解し、一緒に子どもの成長を確認しながら支援を受けられるように定期的なモニタリングや必要に応じて懇談を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や子どものニーズを聞き取り、必要な支援ができるように支援計画の立案を行っています。 ・アセスメントツールを用いて子どもの課題を確認しながら、保護者の方にもわかりやすい個別支援計画の作成を行っています。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保育、医療、福祉施設と連携して支援体制を整えている。 ・就学時の学校との間で支援内容の情報共有や総合理解を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が関係する機関へ向向き、お子さんの様子、支援内容や働きかけを確認し、共通認識を持ち支援を行えるように連携しています。 ・個別支援計画の作成時には必ず電話連絡をとり、児童の育ち、課題を確認し、共通認識を持ちながら支援ができるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんが通う障害児通所支援事業所への訪問を行い、それぞれの役割の元、育ちに合わせた適切な支援が行われるように連携していきます。 ・就学、進学時にスムーズな移行となるように関係機関と引継ぎなどの会議を持っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出、その他必要な訓練を行っている。 ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアルなど策定し、保護者に周知、説明を行っている。また、訓練を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練や救命講習の受講、緊急時対応マニュアル策定を行っているが、保護者の方への周知が十分ではないため、実際に実施されていることが伝わらないのではないかと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSなどを通して避難訓練や安全面に関する取り組みを周知しているので、よりたくさんの保護者の方に届くように発信の仕方を工夫していきます。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方に家族支援(ペアレント・トレーニングなど)や研修会、情報提供などを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントプログラムを実施していますが、すべての利用者の方への周知となっていないことで認知する機会が少ないかと思えます。 ・研修会はメール配信やホームページ、SNSなどでお知らせしていますが、把握されていない方もいるようで周知が不十分であったかもしれません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の充実と周知に努めていきます。 ・保護者の方にわかりやすいように、発信内容や周知方法を検討していきます。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流の機会を設けるなど家族への支援がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者交流の場を年3回計画しましたが、お仕事の都合など参加できない保護者の方もいたと思われます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者交流の場の開催を金曜日に行っていましたが、来年度は別の曜日に設定してお仕事の都合がつけやすい様に工夫します。 ・周知方法を考え、より保護者の方に届きやすい発信を行っています。

公表
保護者等からの事業所評価の集計結果
(児童発達支援)

事業所名 千歳市児童発達支援センター

公表日 令和 8年 3月 16日

利用児童数 令和7年11月30日時点 61名 (60世帯) 回収数 43名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースは十分確保している。	42	0	0	1		
	2 職員の配置数や専門性は適切である。(当センターでは、定員に見合った職員の数以上の職員が従事しています。)	41	1	0	1		
	3 子どもにわかりやすく部屋の表示をしたり、家具の配置など環境配慮をしている。また、設備等のバリアフリー化や情報伝達等について適切に配慮している。	39	3	1	0	・大人から見れば表示は適切だと思うが、子供が理解しているかどうかは分からない。 ・トランポリンの部屋はバリアフリーではない。私がつまづいて転びそうになった。	・見てわかりやすい表示を使って知らせていきたいと思います。 ・トランポリンの部屋(指導室3)は安全面を考え、運動器具の周りにマットを敷いています。今後もケガが無いように配慮していきます。
	4 部屋や廊下は、清潔で心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもの活動に合わせた空間となっている。	43	0	0	0		
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、特性等に応じた専門性のある支援を行っている。	39	3	0	1		
	6 公表されている支援プログラムと、実際に提供する支援内容は合っている。	40	2	0	1	・公表されている支援プログラムが、何を指しているのかが分かりませんでした。	・支援プログラムは契約時に書面でお渡しして丁寧に説明を行い、年度の初めには支援の方針、支援内容についてメール配信等を使いお知らせします。千歳市のホームページでも「支援プログラム」が公開されていますのでご確認ください。
	7 個別支援計画は、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で作成している。	43	0	0	0		
	8 個別支援計画は、子どもの支援に必要な項目「本人支援(あそび、言語面、対人面)」や「家族支援」、「移行支援」などの支援項目を適切に設定し、その上で具体的な支援内容を設定している。	42	1	0	0		
	9 個別支援計画に沿った内容で支援を行っている。	41	2	0	0		
	10 日々の支援で行う活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	41	0	0	2		
11 認定子ども園等(または学童クラブ等)との交流や、地域の他のお子さんと活動する機会がある。	21	4	6	12	・子ども園に通っているの、「はい」の回答を選べば良いのか悩みました。	・園との交流は、以前は行っていました。令和7年度は未実施でした。支援の中で取り組めることは何かを今後検討していきます。	
保護者への説明等	12 運営規程や支援プログラム、利用者負担額等について丁寧に説明を受けた。(センターでは契約時説明を実施しています)	43	0	0	0		
	13 「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を受けた。	42	1	0	0		
	14 保護者に対して家族支援(ペアレント・トレーニング等)や研修会、情報提供等を行っている。	35	4	0	4		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができている。	39	4	0	0	・担当の先生が話しやすく、コミュニケーションがとれている	・今後も保護者の皆様との連携を大切にし、お子様の成長と一緒に確認しながら、子育てのサポートをしてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援を行っている。	38	2	0	3		
	17 職員からは共感的に支援が行われている。	41	2	0	0		
	18 保護者同士の交流の機会を設けるなど家族への支援がされている。(センターでは「保護者交流の場」を開催しています。今年度は6月と12月に実施、次回は2月開催予定です)	35	4	0	4	・利用したいがスケジュールが合わず残念ながら利用できていない ・似た子の親が集まる交流は、あれば良かった。	・より多くの方が参加できるように調整してまいります。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	19	子どもや保護者からの相談や申入れに対応する体制が整備されており、子どもや保護者に周知、説明している。また、相談や申入れをした際に適切に対応している。	41	2	0	0	・なかなか言えない。	・どんなご意見であっても大変貴重な参考となりますので、ぜひ教えていただけると嬉しいです。 ・相談事やご意見などは、「千歳市児童発達支援センター総合相談窓口」もありますのでいつでも気軽に相談ください。
	20	子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達について配慮している。	40	2	0	1	・みんなの前で子供に不適切な対応だったと思うことがありました。	・不適切な対応によりご不快な思いをお掛けしましたこと、こころより深くお詫言ひ申し上げます。お気づきの点がありました際には、どうぞ遠慮なくお知らせいただければ幸いです。保護者の皆様との信頼関係をより一層深めるため、今後は十分に配慮し、適切な対応を心がけてまいります。
	21	活動の概要や行事の予定、業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して定期的に発信している。(日々の活動の様子はお便りやブログで発信しています。また、自己評価結果はホームページに公表しています)	39	1	0	3		
	22	個人情報の取扱いに十分注意している。	40	0	0	3		
非常時等の対応	23	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、保護者に周知説明している。また、発生を想定した訓練を実施している。(センターでは、5月に食物アレルギー対応訓練、6月に嘔吐処理対応訓練を実施しています)	32	2	0	9	・危機管理は行われているだろうと信じているので、このプログラムの存在を認知していなかったが特に気になる事もなかった。 ・括弧書きの内容を読む限り、実施したのだろうと思います。	・各マニュアルに沿って「事故対応訓練」「感染症対策」を実施しています。今後も、ブログやお便りを通して、訓練実施の報告を行っていきます。
	24	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている。(センターでは、6月に火災と地震を想定した避難訓練を実施しています)	37	1	0	5	・危機管理は行われているだろうと信じているので、このプログラムの存在を認知していなかったが特に気になる事もなかった。 ・括弧書きの内容を読む限り、実施したのだろうと思います。	・災害を想定した避難マニュアルを毎年見直し、避難訓練を実施しています。今後も、災害時に利用者様の安全を守るように努めてまいります。
	25	子どもの安全の確保が十分に行われた上で支援が行われている。	43	0	0	0		
	26	事故や怪我等が発生した際に、事故発生時の状況等について速やかに説明している。	29	3	0	11	・そのような状況になったことはありませんが、普段から安心感のある対応を心がけています。 ・そのような状況になった事がないため分かりませんが、事故や怪我等をしていないからわかりません。	・支援中の打撲などのケガについては保護者の方と一緒に状況を確認し対応を行っています。 ・怪我が起きないように「ヒヤリハットマップ」を作成して、職員間で共通認識を持ち再発防止に向けて環境を整えています。 ・万が一、受診等が必要になった場合には、保険により対応させていただいています。
満足度	27	こどもが安心感をもって通所している。	42	1	0	0		
	28	こどもが通所を楽しみにしている。	38	4	0	1	・ものすごく楽しみにしています。駐車場に着いたら声を出しています。 ・施設に近づくと「ゆすってゆすって♪」と歌います ・本人はいつも楽しくセンターを利用しています。本人の意思疎通が増えてきました。	・これからも一人ひとりに寄り添った、安心できる楽しい場所であり続けられるように努めてまいります。
	29	千歳市児童発達支援センターの支援に満足している。	41	0	1	1	・話を聞いて欲しい、わからない事、困っていること、すぐその場で相談出来て嬉しかったです。通ってよかったですと思いました。ありがとうございます！	・今後も期待に応えられるように、質の高い支援を目指してまいります。

事業所における自己評価結果
(児童発達支援)

公表

事業所名 千歳市児童発達支援センター

公表日 令和 8年 3月 16日

	チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	16	0	0	・活動によって部屋を変えて行っている ・適切。広すぎる場合は仕切りを利用したり、個部屋にしたりと工夫している。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	1	0	・手厚い。休みがあってもカバーできる。	・子どもの人数に対して大人が多い時があるので、これまで通り随時調整の必要あり。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14	2	0	・掲示物がやや多いが、空間としてはグループごとに使い方を合わせようとしている。 ・子どもにわかりやすく、入ってはいけないテープや仕切り等、目で分かるよう工夫している。	・建物自体が古いため、窓の開けにくさを感じる。 ・コロナの影響で個別指導室での食事を取りやめたが、本来あそぶ空間と食事の空間は分けるべき。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	16	0	0	・加湿や換気、気温に合わせた配慮など、工夫している。扇風機、空気清浄機等もいつも清潔にしている。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	16	0	0		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	2	1		・広く職員が参加しているか、と言われると疑問である ・複数の職員が入ることでメリットもあるが、支援のねらいの共通認識が難しいと感じる時がある。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	1	1	・反省を踏まえて改善している。参考にしている。	・反省の中で保護者向け評価表の内容が議題に上がったが、あまり検討されていないかった。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	1	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	4	2		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や研修を開催する機会が確保されているか。	16	0	0	・一人ひとり向上心があり、研修等の内容について報告を行い共有している。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14	0	2		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14	1	1		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	1	0		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	1	1	・共有されている。計画に沿った支援を心がけるが、成長や課題によって、ねらいを決めている。	・計画を毎回見直すわけではないので、提示後少しずつプレやすくなる印象がある。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	2	1		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	0	1		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	0	1	・チームで運営されており、係をこえて"みんな"をよく意識している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	0	1		
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	16	0	0		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	16	0	0		・個別支援はプログラム立案・実施・反省すべて一人です

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	16	0	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	1	1		・記録の中で「子育てサポート」の欄がいつものめをおさきれていなかったかも。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0	1		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16	0	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	16	0	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	1	1		・おこなってはいるが、まだ改善は必要であると思われる。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16	0	0		
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	10	4	2	・研修等でグループワークの機会があり貴重な経験となった。 ・事業所訪問を今後は始める予定	・連携がとれている事業所とそうでないところの差はあるのではないかと感じる。 ・園と比べると頻度が少ないため、もっと積極的に取り組むべきなのかと思う。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	14	1	1	・職員で研修を受ける機会、受けられなくてもアーカイブ等で共有できる工夫をしていると思う。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	15	0	1	・年々、参加している職員が増えている。 ・他事業所との積極的な意見交換ができ情報を開けた。	
	31	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	9	6	1		・交流保育はあるが、日常的にはない。 ・事業所としては、交流保育以外では機会がない。 ・今年度は難しさがあつた。個人としては機会がつけられなかったように感じる。 ・交流保育はあつたが、グループ同士での交流はなかった。
	32	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16	0	0		
	33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	16	0	0	・今年度、センター利用者向けにペアプロを実施した。 ・ペアプロに参加し、保護者の考えが変わっていったと感じる。	
保護者への説明等	34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16	0	0		
	35	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0	1		
	36	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	16	0	0	・納得しやすいよう、成長を伝える。あと少し課題、というように伝える工夫をしている。その後同意をもらっている。	
	37	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16	0	0		
	38	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12	2	2	・直接、保護者交流の場には参加する機会は少ないが、学習会等の機会をつくっていった。	・大体決まったメンバーになりやすくなっているため、小集団の保護者にもっと周知し、一人で悩まなくても良いように心がけていきたい。 ・きょうだい同士で交流する機会はあまりないのではないかと感じる。 ・きょうだい同士では設けていない。ニーズがあるかどうか確かめたい。
	39	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0	1	・一人では抱えず、すぐにほかの職員と確認し進めている。	
	40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	16	0	0	・ブログやメールを都度配信し、良いと思う。	
	41	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16	0	0		
42	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16	0	0			

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	5	1		・地域住民を招待する催しを行っていない。
非常時等の対応	44	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16	0	0		
	45	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16	0	0		
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	14	1	1	・直接支援に入っていないくても入る努力をして、園での記録もよく見るよう心掛けていた。	・内服について、十分な把握ができていないことがある。
	47	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16	0	0		
	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	0	1		
	49	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15	0	1	・契約の際に必ず訓練をしていることを知らせ周知している。実施後はブログにも載せている。	
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16	0	0		
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16	0	0	・研修、確保されている。今年度も他事業所を巻き込んだ研修を計画し、連携をねらった。	
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	15	0	1		